

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	良くなる やや良くなる	乗用車販売店（経営者）	・エコカー補助金の反動減もやや落ち着き、最大需要期の3月に向かって回復が期待される。
		自動車備品販売店（経営者）	・エコカー補助金の終了に伴う弊害も落ち着き、また、新卒の時期にも当たるため、自動車業界は多少回復に向かっていく。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（従業員）	・選挙が終わって変化があるのだろうか。
		スナック（経営者）	・予約状況は、前年よりは良くないが、年末年始にかけて入っているため、今よりは少し良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・これからは忘新年会の時期になり、やや良くなるが、前年と比較すると、ますます悪いと思う。前年は、いろいろと不景気の要因があり比較にならないが、当地域においては非常に人の出入りが少ない。ただ、忘新年会の時期に当たるため、いつもよりは良い。
		通信会社（営業担当）	・例年並みではあるが、年末商戦で消費が伸びると思う。ただし、航空機各社の値下げが影響し、今年は海外での年越しが増える可能性が大きいので、国内需要への影響が懸念される。
		設計事務所（所長）	・年末年始を迎えるにあたり、キャンペーンを実施する予定である。今月の落ち込みからは脱却できると思うため、期待したい。
	変わらない	商店街（代表者）	・商店街で売出しの市を開催しても、若い人は大型店、スーパーに行き、ほとんど買物に来ない。高齢化していく商店街は、まさに景気の明るさが見えない。
		商店街（代表者）	・景気が悪いということで、物販業では余計な物は買わず、全く消費が冷え込んでしまっている。当分の間、景気が良くなることは望めない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・月半ばに大型店がオープンした。人出も大変あり、当分は元気であるだろうが、他の地域は元気がなく、皆疲れている。そのため変わらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・総選挙が絡み、先行きがますます不透明で、消費者の財布のひもは緩んではこないようである。客に勧める商品もたとえエコでも、高額な商品は売る側がちゅうちょしてしまう現実がある。現金を持っている客は量販店で、現金のない客は掛売りの利く小売店へ行ってしまうという嫌な気配も感じられる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・なかなか客の購買意欲が上がってこない。
		百貨店（営業担当）	・特に上がる傾向はないと思う。総選挙で情勢は若干変わると思うが、消費の拡大というのは考えにくい。
百貨店（販売促進担当）		・現状は必要な物や価格訴求の商品しか売れておらず、年末年始を控え、ますますその傾向が強くなると思う。また、お歳暮ギフトもダウントレンドで向上要因が見出せず、現状と変わらない。	
百貨店（販売促進担当）		・初売り、クリアランス時期に入ってくるが、不要不急品の購入は控えるという傾向は変わらない。現状、好転要因は見当たらない。	
百貨店（店長）		・12月の総選挙や、その後の不透明感などを踏まえると、購買意欲の喚起は難しい。	
百貨店（販売担当）		・販売促進策などを前年以上にきっちりと実施していくことで、来客数確保に努める。	
スーパー（店長）		・曜日ごとの客数は、数か月間変化がない。	
スーパー（店長）		・次の政権に期待はしているが、根本的にマイナスのスパイラルから抜け出せないと感じる。3か月先は今年度の決算だが、かつてない程の悪い決算になりそうである。	
スーパー（総務担当）		・税率の引上げ、社会保障に関する不安、ボーナスの減額など景気回復の材料がない。	
スーパー（統括）		・消費者の価格に対する意識は強いものの、防寒衣料や鍋商材の堅調な動向から、季節商材、際物商材は底堅さを感じられる。懸念材料は、観光地店舗の客数がマイナス3～5%減であるが、新政権によるアジア情勢の好転に期待している。	
コンビニ（経営者）		・どうしても値下げ、値下げで売上が伸びない。客数は前年より増えているが、買上点数が追いついてこない。	
コンビニ（経営者）		・この時期は、それほど期待できる季節でもないため、年末のお歳暮、クリスマス商材を中心に伸ばし、勢いをつけて新年に向かいたい。	
コンビニ（店長）	・総選挙があるが、総選挙に関わる特別な変化はない。		

衣料品専門店（店長）	・政治が不安定なため、将来に対する漠然とした不安感があり、消費マインドは低下している。
衣料品専門店（統括）	・今も消費の低迷は変わらず、なかなか売上増に至っていない。郊外の大型ショッピングセンターの販売合戦が、暮れのこの時期に多くなり、そのなかで中心街に来る客が増えない。
乗用車販売店（販売担当）	・12～2月は観光地としてはオフシーズンに入り、観光客も少ないため、当社を取り巻く環境はそれほど良くない。中古車に関しては、今のところ順調に売れており、極端に悪くなることはないと思うが、今の低い水準で、このまま2～3か月先もいくのではないかと。あまり景気の良くなるような要素がないため、変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・3か月前と比べて車の販売は、エコカー補助金が終わったため、売行きが止まっている。この先伸びる要素がないため、変わらない。
乗用車販売店（営業担当）	・自動車の販売はあまり活発ではないが、地域性もあって冬用カー用品、特にタイヤの注文が例年より多く、少々にぎやかであるが、一時的な現象に思える。
住関連専門店（経営者）	・実質的な消費拡大の糸口が見当たらない。例えば、製造業の受注拡大や公共投資の拡大、給与所得者の賞与の増加等、景気回復への著しい変化は見当たらない。
住関連専門店（仕入担当）	・天候不順や政治の混迷が象徴であるが、そういった環境の変化から自己を守るための消費行動がより加速するため、より厳しさが増す。
一般レストラン（経営者）	・忘年会シーズンだが、総選挙の影響がどのように出てくるか分からない。11月中は会合が多くなり良い方向だが、公示後は確定していない。
一般レストラン（経営者）	・依然として経済界が非常に低迷している。それと共にデフレの時代はまだまだ続き、良くなる兆しが見えてこないため、変わらない。
スナック（経営者）	・景気の悪い日々があとひと月という早さで進んでおり、本当に大変である。悪いまま変わらない。
スナック（経営者）	・変わらないというより分からない。総選挙の結果なども影響してくると思う。
旅行代理店（経営者）	・総選挙の結果がどうなるか全く読めない。新政権が主導を取ってもなかなか難しいと思うが、現政権ではもっと悪くなると思う。これから先は全く分からず、不透明である。
旅行代理店（営業担当）	・暮れも押し迫り、12月に総選挙を控えて、何か社会全体に余裕がないため、旅行の需要は伸び悩む傾向にある。
旅行代理店（副支店長）	・政治動向、経済状況を含めて先行きにまだまだ不透明なところがあり、旅行業としては厳しい状況が続いている。
旅行代理店（副支店長）	・海外旅行は現状のままと思うが、国内旅行、特に東京日帰りや東北への旅行については少しだが動きが出てきており、このまま人気の旅行地は持続しそうである。受注状況は前年と同じが、若干上回っているが、旅行代金もデフレ化が進んでおり今後懸念される。
タクシー運転手	・12月は忘年会シーズンであるが、忘年会をやらない所があるようである。しかし、これ以上は悪くならないと思う。
通信会社（経営者）	・衆議院選挙とLPG、灯油の需要期が重なってしまったため、選挙結果次第でしばらく円安が続くとすると、仕入高の高騰が続く可能性が大きい。また、消費税増税を意識して、比較的高額な機器は、前倒して若干売れてきたが、それでも震災以降全く好転していないと云っていいレベルである。このような景況で増税したら、地方の零細企業は立ち行かなくなる。
通信会社（総務担当）	・個人消費が低迷している。
テーマパーク（職員）	・一般来園者は回復しつつあるが、学生団体や訪日観光団体が減少しているため、良くなる材料が少ない。
遊園地（職員）	・回復基調を期待したいが、先行き不透明な状況が続いている。
ゴルフ場（業務担当）	・今月は、前年に比べて入場者数はほぼ同じだが、23日からの悪天候の影響もあり、売上が伴ってこない。平日については、景気にあまり影響を受けないシニア層の取り込みによって、入場者はある程度確保できた。ただ、土日のシニア層を除いた全体の入場者は伸び悩み、ショップ関係の売上が予想に届かず響いている。総体的な売上がなかなか伴わないのが現状であり、向こう3か月については引き合いはあるが、安いプランばかりである。
競輪場（職員）	・他の公営競技の売上高も、さほど変化が見られない。

	その他レジャー施設 〔アミューズメント〕 (職員)	・先月から今月にかけてが一つの底のような感じで、客数、単価共に落ちている。好転の材料をいろいろ探し、工夫もし、売場を変えたりもしているが、なかなか効果が上がってこないため、この状態がもう少し続く。	
	美容室(経営者)	・店の設備投資の相談件数が10月1日以降、少なくなっている。12月の選挙状況を確認してから動くと思うため、総選挙の結果が目される。	
	その他サービス〔清掃〕(所長)	・ボーナスの支給や年末年始を迎え、多くの家庭で多少買物等が増えるが、景気が大きく変わることは考えられない。	
	設計事務所(経営者)	・2、3か月先までは仕事の予定があり、忙しい。	
	設計事務所(所長)	・衆議院選挙により現政権から他へ政権が変わるとしても、急激な変化は望めない。まして世界的な不況の風は急には収まらないだろう。日本の景気がこれ以上悪くならないよう願う。	
	住宅販売会社(従業員)	・田舎暮らし志向の需要が一巡し、別荘需要は停滞傾向が続くと思うためである。	
	住宅販売会社(経営者)	・現在は、需要の先食いの状態であるが、総選挙の結果次第で動きが予想できない。現状は、良い方向に向かっているが、総選挙の結果次第で流動的である。	
	住宅販売会社(従業員)	・中国の景気、円高がどこまで是正されるかで大きく変わると思うが、長続きしないのではないかと。更にエコポイントの一部等の政策の終了もあり、反動がでるのではないかと。	
やや悪くなる	商店街(代表者)	・ボーナス減額や、いろいろな経費が増え、無駄遣いができないと嘆く客が多い。	
	商店街(代表者)	・商店街に人が歩いていない。今月になって2件の店が閉店し、パチンコ店も2店破産してしまい、商店街は灯りが消えたようである。	
	一般小売店〔青果〕(店長)	・総選挙で勝った党が大きな景気対策をやり、少しでも上向きになってくれることを期待している。	
	百貨店(総務担当)	・お歳暮商材関係や、年末年始の初売り商戦も、年々、団塊の世代が卒業したことで、買う人が少なくなった。また、初売りで新しい物を購入するという、昔ながらの買い方をする人が激減している。1年の締めくくりとして、新しい物を着る、買うという人が年々減少しており、消費が平準化したように感じる。	
	百貨店(店長)	・現在の政治情勢が続くと、生産者から要望の声が高い企業減税などの思い切った政策が期待できない。	
	スーパー(経営企画担当)	・景気の先行きの見込みが悪いことと、業界全体も低迷しており、大手が先頭を切って値下げ競争が始まっている。	
	コンビニ(経営者)	・毎年1、2月は来客数が少なく、客単価も上がらないため、やや悪くなる。	
	コンビニ(経営者)	・単品だけの目的買いが多い。	
	コンビニ(店長)	・当店の道路延長上に、同じチェーンに属する新店が1月ごろオープンする。ただでさえ悪い方向に動いているのに、更に悪影響が出る。	
	衣料品専門店(販売担当)	・今月より悪くなつては困るが、財布のひもが極端に固くなっている。また、年末年始の催事的なもので良くなる要素はあると思っはいるが、当社のような衣料品関係に関しては、生活必需品と違うため、敬遠されていくような気配があり、若干今月よりは悪くなっていくと思う。	
	家電量販店(営業担当)	・政治が流動的で先行きに不安があり、投資もできない状況である。	
	乗用車販売店(従業員)	・販売車両が減少しており、車両もコンパクトカーが主流になって、収益に影響が出ている。継続整備のサービスにも影響が発生していきそうである。	
	高級レストラン(店長)	・予約の受付状況を見ると、今後、更に厳しい状況が予想される。	
	一般レストラン(経営者)	・忘新年会の予約チラシに対して、客の反応がない。特に、会社関係が前年同様、最悪の状態である。	
	一般レストラン(経営者)	・政局が不安定で、政治家皆が好きなことを言っており、国民の不安は募り、消費は冷え込む。	
	観光型ホテル(営業担当)	・これから宿泊はオフを迎え、忘新年会シーズンを迎えるが、例年あった宴会が幾つか自粛のため獲得できていない。好景気を生む要素が見当たらない。	
	都市型ホテル(支配人)	・忘年会の予約の入込、及び、年末年始の呼び込みが弱い状況である。予約状況は、例年より2割程度少ない。	
	都市型ホテル(営業担当)	・ビジネスホテルの関係では、12月が販売や景気のピークと考えられるが、年始はなかなか稼働が伸びない状況がある。また、景気が悪くなってくるような報道などがあるため、その後もあまり期待できない。	
		旅行代理店(従業員)	・燃油がまた高くなり始めている。

		通信会社（経営者）	・年末、年度末に向けて例年は販売量が大幅に伸びるが、東日本大震災後の景気は、常に悪化傾向にある。被災地である当地域では、更なる復興支援等の協力がなければ、前を向くことは困難だろう。広がり続ける景気の悪化は、多くの中小企業を飲み込み、倒産や廃業する仲間は増え続けている。
		通信会社（局長）	・産業界のリストラの進行など、個人消費に陰りが生じる材料が出てきている。
		通信会社（販売担当）	・中国、韓国との外交問題や、消費税増税などの政治不安が続く、先行きが不透明なため当分景気は低迷していく。
		設計事務所（所長）	・景気浮揚をうかがわせるような要素は皆無である。
悪くなる		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・工業団地内の製造業関係の企業は、この先の業績判断が相当厳しい。年明けには、社員の消費動向に更なるマイナスの要因となりそうである。
		スーパー（経営者）	・消費者心理が上向き気配はない。
		コンビニ（経営者）	・今後、来客数が減ることと、客単価が低くなっていくことが原因である。
		衣料品専門店（経営者）	・総選挙の影響で、年末の売上が減る。
		家電量販店（店長）	・好調商品の携帯電話、スマートフォンは2倍の動きであり、冷蔵庫も前年は越えているが、金額構成比が低いいため、このままでは景気は悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・客数が減少しつつある。宴会の回数が特に減っている。
		旅行代理店（所長）	・今月が年間のピークであるが、確実に悪くなる方向に向かっている。冬季の各種観光誘致イベントを実施するが、それらがいかに功を奏するかに期待したい。
		タクシー（経営者）	・不景気感が続いているため、この先も悪い。
		美容室（経営者）	・新規客の見込みは難しく、緩やかなカーブではあるが来客数は落ちている。客のパイをめぐる既存店は苦戦しているが、新規店の将来もこのようになるかもしれない。地方都市での景気は都市部とは明らかに違う。
	企業動向関連	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）
(北関東)	やや良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・現政権の影響で、デフレ、円高、株安であったが、衆議院の解散が決まった途端、円安、株高になってきたため、政権交代すれば少しは景気が良くなるのではないかと思う。
変わらない		食品品製造業（営業統括）	・今年度収穫の新酒に期待したが、思ったほどの伸びは見られず、現在の景気に左右されて消費者の財布のひもは固く、伸び悩んでいる。
		食品品製造業（製造担当）	・店にはアウトレット品を求めて買いに来る客がいるため、やはり安い物が売れる傾向にはあるが、正規品も普通には出るので、変わらない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・特注受注の見込みは薄く、Webを中心に商品の宣伝もしているが消費者の興味も薄く、販売予想共に良い材料がない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・総選挙があり、その後のことが分からないため、どうなるか今のところ見通しが立たない。
		金属製品製造業（経営者）	・今以上に仕事量が少なくなった場合は、将来がとても不安である。先のことは分からないため、仕事が出るようになることを希望している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・現状では大きな変動要因が見られず、全体として低迷が続く。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・注文は一時的で、長くは続かないと思う。
		輸送業（営業担当）	・前年は東日本大震災、原子力発電所等の影響により、節約家電、電気家電等の石油ストーブやガスストーブが大幅な荷動きがあり、また、エコとしてカイロ、湯たんぽ等の動きも大きかったが、今年は例年並みである。また、年末年始に向けて初荷等の雑貨、衣類等は例年並みの動きが予想されるが、ここへきての燃料の高騰もあり、少し利益の確保が厳しい状況である。
		金融業（経営企画担当）	・円安傾向は製造業の景況感に好影響を及ぼすと予想されるが、尖閣諸島問題による日中関係は観光業のみならず、製造業にも影響を及ぼしかねない。
		広告代理店（営業担当）	・12月に総選挙があるため、年末商戦への集中力が途切れがちになる。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・衣料問屋の話では、冬物は例年くらいの動きであるが、価格は安い物の動きが多いと話している。
	司法書士	・良くなる気配が見えないため、このまま続くのではないか。	

	経営コンサルタント その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・国の政策の行方が見えず、産業界としては動きにくい。 ・総選挙もあり、先行きが読みにくくなっているため、何とも言えない。
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・仕事量が減っていることと、価格が抑えられているため、利益が上がらない。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・官庁関係の大口の仕事等が随分少なくなってきている。先行きが心配である。
	化学工業（経営者）	・年が明けても仕事量はそこそこあり、利益も出そうである。しかし、先行きが何とも不透明、不確実のため、どうしてもマイナスの考え方になってしまう。
	電気機械器具製造業（経営者）	・これから3月末にかけて売行きが芳しくないため、各メーカーが在庫調整をすると思う。受注量が落ち気味になってくるため、3月までは厳しい低空飛行が続く気がする。
	電気機械器具製造業（経営者）	・企業として努力もしているが、受注につながらず、限界を感じる。
	金融業（役員）	・飲食業では、総選挙絡みで接待等が規制を受けるため、客が出なくなり、消費が落ち込む。また、車や機械関連は、国内のパイが非常に小さく、価格競争が激しいため、利ざやが非常に縮小している。
	金融業（調査担当）	・海外需要の不透明感は続くともみられ、しばらくは生産の減少を余儀なくされる可能性が高いため、企業のマインド面も停滞する。
	不動産業（経営者）	・この時に消費税増税では、素人が考えても冷え込むのは自明である。
	社会保険労務士	・消費税増税法案の成立以降、必要最低限な物以外は売れなくなってきている。少なくとも総選挙後までは、こうした消費者心理は続くものと思う。
悪くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・親工場の海外移転により、受注量が減少しつつある。
	電気機械器具製造業（経営者）	・客先の新製品予定が、来年の5月に遅延しているとともに、現在の製品受注が下降気味である。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・物件が非常に少なくなっている。また、非常に不況になっており、設備投資の計画が中断している企業も多いようである。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・大手自動車メーカーの情報では、中国、欧州、豪州向けが半分程度になっている。今のところ北米が若干好調だが、国内は不振であり、1月以降は減産に入るため、先行きが全く不透明であり、どうなるのか分からない。特に10月以降は、大手メーカーからのコスト引下げの要請があるため、収益も大幅に悪化してきており、12月の賞与も見合わせざるを得ない状況である。非常に苦慮している。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・クリスマスに向けセールを企画し、顧客へアプローチしたが、旅行とぶつかるため行けないとの返事が多かった。ジュエリーの購買より旅行に重点が置かれている。クリスマス休暇を始めとし年末年始の休暇が長いため、ジュエリーの購買には結びつかないのではないかと。
	建設業（総務担当）	・公共工事主体で土木舗装工事を行っているが、決算で2期連続の赤字となってしまった。来期も厳しい状況が続くが、長期工事の2現場が完成になるため、何とか期待したい。
	通信業（経営者）	・年金問題が一向に改善されず、老後の不安を抱えている庶民は悠長に消費などできない。また、消費税増税など、消費を停滞させる政策を打ち出されれば、ますます消費が低迷し、景気は冷え込む一方である。次の総選挙後もこれといった景気対策など期待できない。
	不動産業（管理担当）	・ビルのオーナー変更による、管理費用の引下げが12月より始まるため、売上、収益共に大幅減になる。
雇用 関連  (北関東)	良くなる やや良くなる	
	人材派遣会社（経営者）	・今月は住宅着工が目立ち、年内、年明けぐらいまでは動きがそのまま継続していきそうである。また、年末のクリスマス、お歳暮商材の販売に力を入れているようで、それに関する募集も目立ってきている。継続的にあるのがサービス業の介護関係であり、介護職等におけるスタッフ等の募集傾向が多く見られ、若干期待をしている。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・例年は、年末年始に向けて流通、小売などサービス業が忙しくなる季節のため、パート、アルバイトの求人が増えてくる。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	・今のところ総選挙のせいもあり、人材派遣関連が良いのか悪いのかあまり分からない。

	学校 [ 専門学校 ] ( 副校長 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 求人社数、求人者数共に増えてきている。しかし、実際の選考状況は非常に厳しく、企業側は慎重に選考しており、選考結果が出るまで長期化している。会社に合わない人材を無理に採用することがなく、再度募集をかける会社も増えてきている。</li> </ul>
やや悪くなる	人材派遣会社 ( 営業担当 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この先、雇用については、メーカーの海外進出の影響で不安感があり、その不安が消費不安につながる。</li> </ul>
	人材派遣会社 ( 管理担当 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 派遣取引から請負取引へシフトしているため、新規契約締結が難しい状況が続く。</li> </ul>
	職業安定所 ( 職員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月の新規求人数が前年同月比で14.1%の減少となっており、産業別で見ると製造業が51.7%減。建設業が32.8%減。学術、専門サービス業では32.8%減と大きく減少している。先月の新規求人数と比べても製造業、建設業、学術、専門サービス業共に2桁の減少幅となっており、また、管内の製造業の企業で雇用調整の実施について相談が複数あることから、求人数の状況も悪くなってきている。</li> </ul>
	職業安定所 ( 職員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年末に家電、衣料品製造の事業所において人員整理が予定されており、求職者数の増加が予想され、新規事業にかかる製造業の求人も全くないことから、景気回復は見込めない。</li> </ul>
	職業安定所 ( 職員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年同時期に比べて求職者がわずかに増え、新規求人申込が依然伸び悩んでいるため、今後、事業主都合による離職者がますます増えると、とても厳しい状況になる。</li> </ul>
	職業安定所 ( 職員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 尖閣諸島問題が主な原因と思われるが、雇用調整助成金の相談、計画が、前月末から増えてきている。事業所からの景気の良い話は聞かれない。求人数はそこそこあるものの、求職者の希望職種と合わず、ミスマッチが生じてくる。</li> </ul>
悪くなる		